

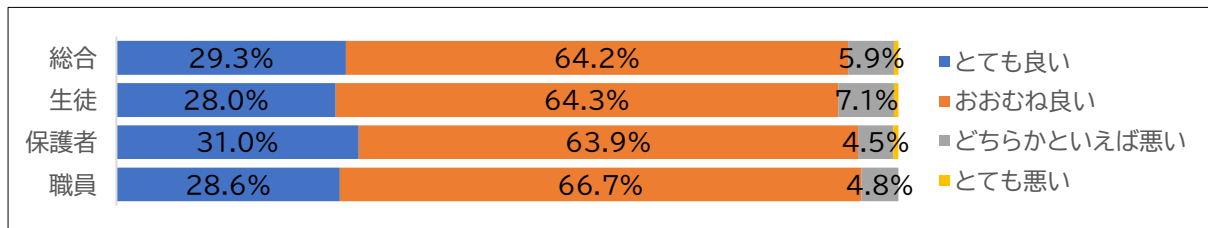
学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。昨年度に引き続き、Webアンケートにて実施をいたしましたところ、おかげさまで、全校の回答率 89%、多くの自由記述によるご意見をいただきました。

それぞれの設問についてみますと、総じて、「とても良い(そう思う)」「おおむね良い(そう思う)」が85%以上のものが多く、白馬中学校の取り組みを肯定的に受け止めていただいていることに、私たちの頑張りも報われる気がして、嬉しく思います。これも、明るく素直な子どもたちがいて、温かで寛容な保護者の皆様がいるお陰であると心から感謝しております。

自由記述でいただきましたご意見ご感想につきましては、できる限り学校で考えていることをレスポンスさせていただきました。ご理解ご協力をいただければ幸いです。また、半数以上の方から心温まるご意見ご感想も頂き、学校職員一同励みとなるところです。このような温かな保護者の皆様に支えられ白馬中学校が進んでいることに心から御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

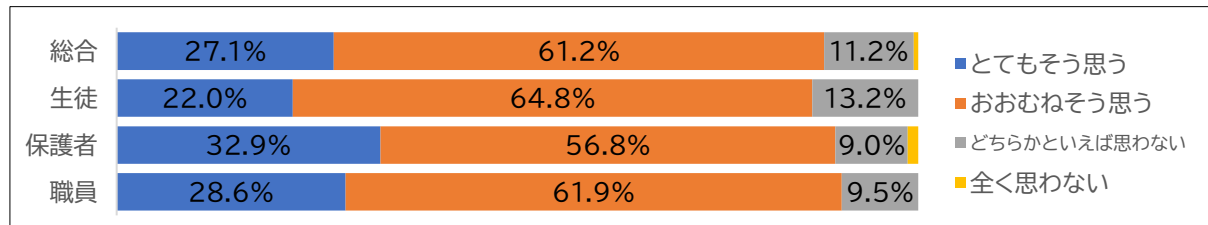
設問1 全体として、白馬中学校の教育活動をどう思いますか？



本校では、昨年度より学校教育目標を「たのし うれし 白馬われら」としました。今年度は特に「一歩先行くICTの活用」と「SDGsの推進」を力点に掲げ、あらゆる教育活動で意識して取り組んで参りました。例えば、昨年度実現させた双方向型オンライン授業を生徒や職員が入れ替わっても維持できるように企画したオンライン Week、1年総合「白馬で遊ぶ」、八方池トレッキング、総合発表会、SDGs 国際フォーラム、2年職場体験学習、3年東北への修学旅行などですが、これらの一つ一つで、「たのし うれし 白馬 われら」を意識できたように思います。

このような本校の取り組みが、90%を超える肯定的な評価につながったと思います。今後も、地域の皆さんと連携しながら、努力や工夫を重ね、教育活動を推進して参りたいと思います。

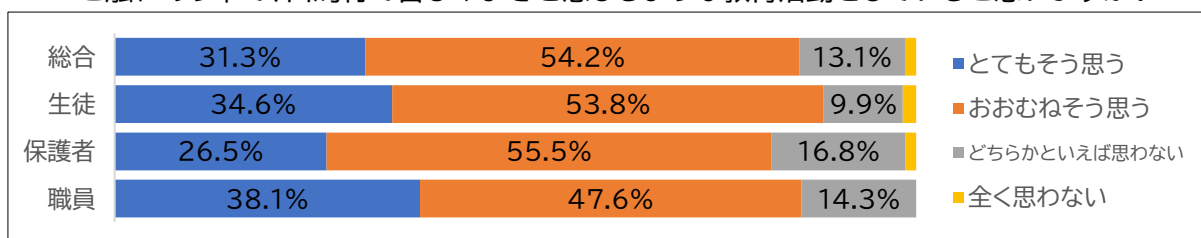
設問2 授業は工夫されていて、お子さんは授業内容を概ね理解できていると思いますか？



86%を超える生徒が肯定的に評価してくれており、昨年度5%の生徒が回答した「全く思わない」が一人もいませんでした。これは、昨年度来取り組んできた「対話を大切に授業」のツールとしてきた ICT を、「教師が ICT を活用する授業」から「生徒が ICT を活用する授業」へと改善を図ってきた成果の表れかと感じています。

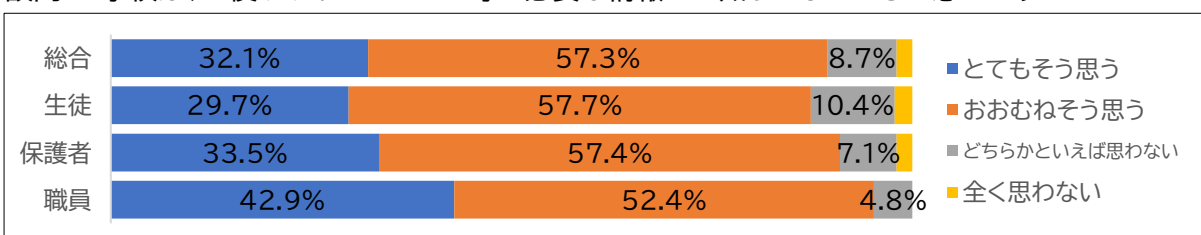
一方で、満足していない人の割合は、生徒が13.2%、保護者が16.3%、職員が9.5%に及びます。これは、保護者や職員の生徒の学習への期待の表れであるかと思えます。今後も生徒の資質・能力を育成していくために、「対話的で協働的な学び」「個別最適な学び」となるような授業が実践されるよう、職員研修や教科会の充実を図って参ります。

設問3 総合的な学習の時間や奉仕活動・ボランティア活動などを通して白馬村のひと・こと・ものと触れあう中で、白馬村で喜びやよさを感じるような教育活動をしていると思いますか？



昨年度と同様、88%を超える生徒が肯定的に評価してくれました。今年度の力点の一つに「SDGsの推進」を掲げて取り組んでいます。道路清掃などのこれまで慣例的に行ってきたことをSDGsの視点で捉えなおしたことや、SDGs国際フォーラムなど様々な場面で地域の皆様に本校の教育活動に積極的に関わっていただけていることが、白馬村で生活することに対する喜びやよさを生徒が実感することにつながっていると感じています。「もっとボランティア活動に参加したい」という声が生徒から挙がっています。コロナの影響で以前のように参加する機会が豊富でない実情がありますが、今後の状況を確認しながら、積極的に進めて参りたいと思います。

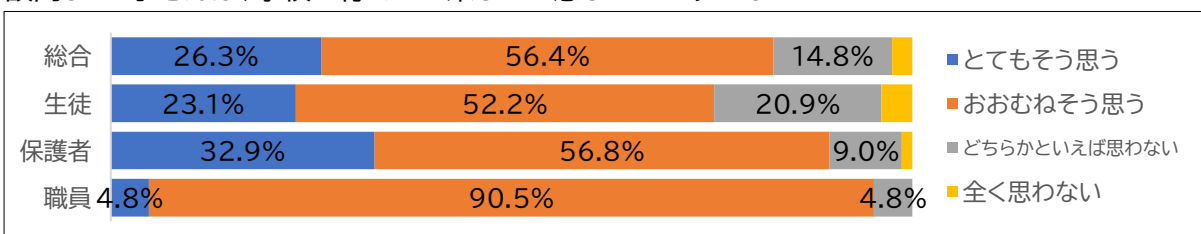
設問4 学校は、お便りやホームページ等で必要な情報をお知らせしていると思いますか？



昨年度は、この質問を保護者の皆様にも実施しましたが、今年度は生徒や職員にも実施し、昨年度同様の高評価をいただきました。学校からのお知らせについては、絆メールに加え、昨年度リニューアルした白馬中ホームページを活用することで、学校全体のペーパーレス化の推進にもつながっています。

しかし、紙文書以外の連絡手段が複数あることで、ご家庭に混乱を招いてしまっている面も、寄せられた自由記述からわかってきましたので、改善していくよう検討して参ります。

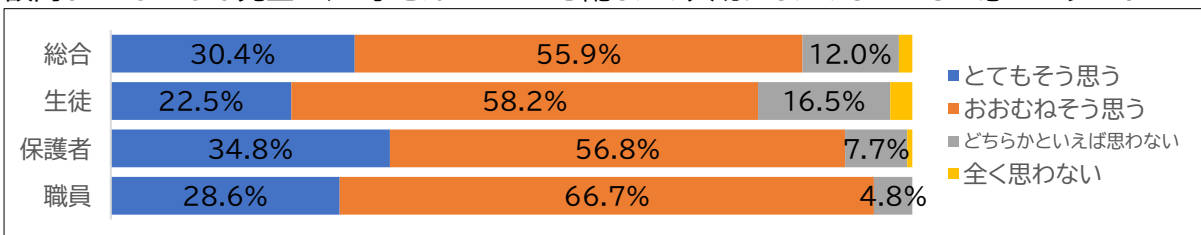
設問5 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと感じていますか？



90%近い保護者の皆様から、肯定的な回答をいただきました。

しかし、24.7%の生徒が否定的な回答であったことは、学校として重く受け止めなければならないことです。他の設問の結果と併せると、本校の学校行事に関わる教育活動の推進や授業については全体的には良さそうですので、「友だちや他との関係」や「学力や進路」などについて、より意識しながら、生徒全員が「楽しい」と思える学校生活となるよう、努力して参ります。

設問6 いろいろな先生が、お子さんのことを心配したり大切にしたりしていると思いますか？



昨年度は生徒と職員のみへの設問でしたが、今年度は保護者の皆様にも実施し、91%を超える肯定的な回答をいただきました。また、アンケート自由記述欄で、保護者の方から、多くの感謝の気持ちを伝えていただき、生徒との関わり・支援に対し、一定の評価が得られていることを嬉しく思います。

一方で、生徒の否定的な回答が19.5%あることを設問5と同様に重大なこととして受け止め、今後も生徒一人一人の理解に努めるとともに、思春期で複雑な生徒の思いを大切に、それぞれの成長に寄り添って参りたいと思います。